

## タウンミーティング記録 未来へつなごうふじみ野市

日 時 令和4年10月1日（土）午前10時～11時30分  
場 所 赤土原分館（赤土原町会）  
参加者 34人



### 主な意見等

参加者 環境センターにあるドッグランについて、特定の団体に加入しないと利用できないのでしょうか。

市 長 これまでの経緯について説明させていただきます。旧上福岡清掃センターの横に雨水処理の調整池がありました。そこをドッグランとして使用したいという要望もあったことから、目的外利用として、愛犬家協会に利用していただくという形をとってきた経緯があると伺っています。

そこから新しい清掃センターの建設に伴い、現在の場所に移していく話になりました。担当から実情を聞いたところ、月一回しか利用申請できない、会に入会し会費も払わなければならないのか、そういったところは市民の方に誤解を与えてしまうことと思っています。しかし、現在のところも自由に出入りされてしまうと、犬を放す中で凶暴性についてもわからないというところもあり、愛犬家協会に利用していただいております。現在の運用方法を見直すよう検討してまいります。

参加者 特定の団体に無償で貸付けを行わず、市の方で事務は行い、それでも難しいようであれば、その団体に委託すればよいのではないですか。

市 長 委託という方法も考えましたが、昔のように簡単に委託契約という事が難しくなってきました。

今後についても、関係団体と話し合い等をおこない、方法等を変えていくことを検討したいと思います。

参加者 旧大井学校給食センターの跡地の整備を気にかけていました。前町会長からは、市へ赤土原町会のために整備するようお願いしていると聞いており、どうなるのだろうと思っていたところ、結果として一戸建てが建つと聞きました。民間業者への売却に至るまでの経緯を教えてください。

市 長 一時、保育園の建設を検討させていただきました。しかしながら、近くの丁字路が接道要件を満たしていないため、建設はできないこととなりました。周辺住宅の方に道路の拡幅についてアンケートを行ったところ、車が通りやすくなると交通量が増えてしまう懸念から、拡幅しないでもらいたいという結果になりました。また、道路の接道要件を満たさないことから、市として公的な利用が難しいこととなりました。

地域の方からのさまざまな要望がある中で、赤土原分館や隣の赤土原公園などの現状を維持してきました。維持していくためにはお金が伴うものであり、合併の恩恵がなくなった中で、また、これからさらに高齢化社会を迎えていく中で、若い世代の費用負担がより大きくなっていきます。効果的な行政を行うため、民間業者に売却することとなりました。

参加者 赤土原公園について、二つの遊具が、危険性があるため撤去され、代わり砂場が設置されました。あるとき、利用していた小学生にどんな遊具が欲しいか聞いたところ、ブランコや鉄棒が欲しいと言っていました。砂場を利用するのは未就学児で、小学生は砂場をあまり利用しないそうです。子どもたちの目線で調査し、整備を行ってほしいです。

市 長 市内には公園が 164 箇所あります。ふじみ野市は平成 18 年に起こったプール事故を受けて、日常点検を行うはもちろんのこと、毎年 7 月下旬に特に重点的に安全点検週間を行っているところです。合併以前

から高度経済成長などで発展してきた歴史の中で、遊具が増えてきました。そうしたものが経年劣化で錆びたり、付け根の部分が腐食したり、今は大丈夫でも将来的には危ないというものも多数あり撤去しておりますが、設置が追いついていないところが現状です。赤土原公園には砂場が設置されたと伺いましたが、地域の要望などを踏まえているつもりではございますがご要望に沿えないところもあり、例えばブランコを設置し、同じ場所にブランコを再設置するには、過去設置した時より安全領域をかなり大きくとらなければならなくなったり、公園の面積に対する設置場所の要件が変わってまいります。今後、子どもたちの目線を考えながら全体の中で設置を検討していきたいと思っております。

参加者 樹木の影響で公園の見通しが悪く、過去に子どもが連れ込まれそうなことがありました。その後の対応として、樹木を切り、垣根を低くしてもらいました。公園緑地課より連絡があり、枯れている樹木について切らせて欲しいと連絡がありました。併せて死角が出ないかどうかなども確認して欲しいです。

市長 職員が気になる樹木などは、樹木医の診断を受けて伐採などの対策を行っています。見かけ上は問題なさそうでも、台風などの強風の後に倒木してしまうケースもあります。また、公園の立地上道路から見通しが悪かったり、暗いところや盲点になってしまいそうなところも併せて点検させていただければと思います。

参加者 ふじみ野駅から旧大井学校給食センターまで道路を通す予定でしたが、それはもうなくなったということでよろしいでしょうか。

市長 はい。現在はなくなりました。

参加者 支所近くの桜通りに枯れてしまった樹木があるので、桜の更新を検討していただきたいです。腐食した切り株の除去や新しい苗木を植えてほしいと思っています。費用的に難しいようであれば、オーナー制度を導入し寄附を募るなどの方法もあります。

市長 桜については、さまざまなお意見をいただいています。現状は近隣にお住まいの方に迷惑が掛からないよう剪定を行っております。最近の主流として、街路樹の低木化が進んできていますが、かつてのまちづくりの中で桜並木を作りましたので、何とか残していきたいと考えています。今後は桜についてオーナー制度を含めたうえで、安全面を考えながらきれいな景観を残してきていきたいと思っております。

参加者 パッチワーク状に補修された道路について、補修した淵の部分が滑るので、材質を変えるか工法を変えるか滑らないように検討してください。できれば全面舗装をしていただきたいです。また、補修のやり方自体に場所による適不適があります。桜並木から丁字路にぶつかるところですが、再開発の部分でダンプカーが曲がったりして、区画線がぐちゃぐちゃになってしまっているため、場所により補修のやり方を検討して欲しいです。

市長 ご指摘いただいた通りで、補修をしたところの淵が滑りやすいというのはあるかもしれません。また、埋設物の工事後に補修をしたりすると、復旧までの間に地盤を一定程度落ち着かせるなど全面復旧までに時間がかかってしまいます。市内全体の道路の修繕に対する予算について、社会保障関連費用が多額になってきていたりして、昔より圧縮しているところです。優先順位や年度内に施行する箇所というのが限られています。その中で、安全を重視し、危険であるところをまずは優先していなければならないと思っています。貴重なご意見として参考にさせていただきます。

参加者 被災宅地危険度判定士をもっていて、災害によって市内で擁壁や斜面が崩れたなどの際に、危険度を判定しなければならない立場にあります。実際に災害があり参集されるようになった場合、被災建築物応急危険度判定士が、どこからどのような手段で参集するのか、車の保有状況や車種など把握された方がいいのではないかと考えています。また、災害時に実際車で行った際に、スムーズに被災住宅に行けるよう、判定士とわかるように資格証を発行されてはいかがでしょうか。静岡県では、デジタルツインを用いてバーチャルなマップを作っております。以前、熱海市で土砂災害があった際に、デジタルツインを用いて迅速

な対応をしておりました。埼玉県やふじみ野市での予定はありますでしょうか。

市長 埼玉県やふじみ野市でデジタルツインを用いたバーチャルマップの作製を行おうとしているかについて詳細を把握はできておりません。しかし、静岡県では、先進的な取り組みをしているのは防災センターを含めて把握しております。ご提案いただいた件について、危機管理防災課を含めて検討させていただきます。併せて機会がありましたら、ご助言をいただければと思います。

参加者 市がコロナ対策に力を入れていることはわかったのですが、昨年のコロナウイルス感染症の発症率が県内第2位だったのですが、この結果についてどのように考えているのでしょうか。

市長 それぞれの方が気をつけるというのが一番大切ですが、ふじみ野市としては、ワクチン接種の推進や公共施設の利用制限を行っております。発症率は県内第2位ですが、市外の方も含めてワクチンを接種できるように進めたのは埼玉県1位であります。また、医師会の協力体制も図りながら、スピード感を持ってやってきました。ふじみ野市内でコロナ検査を行える病院が多く、積極的に検査を行っているのではないかと思います。

参加者 住民は感染症対策はやっていますが、他の市町村よりもコロナ感染者が多いと不安に感じてしまいます。分析して対策を行ってください。

市長 年代別やだいたいの感染経路は市でも把握できますが、全数把握もなくなった中で、細かいデータは得られなくなりました。

参加者 どこの地域に感染者が多いといった情報を把握できれば、その場所を避けて行動できるのですが、地域別のデータを市では把握しているのでしょうか。

市長 個人情報の観点から住所等が提供されていないため、把握できません。

参加者 大雨が降ったときに、住宅の周りに水が溜まってしまいます。浸水対策のため市へ相談し、土嚢を手配していただき、対応してきました。しかし、高齢になってきて土嚢の持ち運びができなくなってきました。水がたまらないような対策をとっていただけないでしょうか。

市長 ふじみ野市は関越自動車道から新河岸川に流れるように傾斜があります。一度にたくさん降ってしまうと局所的に溜まってしまう場所があり、その対策として遊水池等の整備を進めております。しかしながら、未だに局所的に水が溜まってしまうところが市内各所にあるのが現実ではあります。今後、改善できるよう努めてまいります。